

— 消費者行政活性化事業 —

テレビ・雑誌で
おなじみの

服部幸應先生 「食育」講演会

演題

食育のすすめ！！ 心も体もよろこぶ 食べ物えらび

食育は「いのち」の大切さを知る原点。
家族そろって、健康な食事づくりを目指し、
心身ともに健康な生活を送りましょう。

入 場 無 料

食育パネル展示
などもあるよ♪

日時 平成24年**11**月**27**日(火)

場所 **竹原市民館 大ホール**

18 時開場

18 時 30 分開演

★車でお越しの際は、市役所または職員駐車場をご利用ください。

★未就学児の託児を必要とする人は、事前に保健センター（☎ 22-7157）へ申し込んでください。

問い合わせ 市民健康課健康対策係 ☎ 22-7157
産業振興課商工振興係 ☎ 22-7745

竹原市では、現在、食育推進行動計画を策定中です。「食」は、あかちゃんから高齢者まで、すべての人に関わっています。

「食」について、一緒に考えてみませんか。ぜひご参加ください。



はっとり ゆきお
服部 幸應

東京都出身

医学博士／健康大使学校法人服学園理事長・服部栄養専門学校校長
内閣府「食育推進会議」委員／文部科学省「早寝早起き朝ごはん」
全国協議会副会長





市民のみなさんと市長が直接対話 まちづくり懇談会

市では、市民が主役のまちづくりを目指して、昨年度から、市民のみなさんと市長が直接対話する「まちづくり懇談会」を住民自治組織と協働で開催しています。8月開催の大乗地区でいただいたご意見の一部をご紹介します。

8／21開催（大乗公民館）
大乗地区協働のまちづくりネットワーク

健全な教育現場

地域の小学生から、「中学校への進学に不安がある」といった声を聞いている。市はどのように考えるか。

また、大乗幼稚園の園児の募集を停止することについては、地区のわずかな人しか知らないと思う。地域全体での説明会を開催してほしい。

答

現在、教育委員会や学校が、小学校や家庭・地域と連携した様々な取組に、一丸となって取り組んでいます。今後も地域のみならず、市内全体の教育の充実を図っていききたいと考えています。

これまで、教育委員会と保護者・地域のみなさんが、幼稚園のあり方について協議を重ねてこられ、教育の質を確保するために一定の集団の中で切磋琢磨することの重要性を理解していただいていると考えています。

大乗地区協働のまちづくりネットワーク
会長 佐渡 清二さん



まちづくり懇談会を終えて・・・

私達は、福田・高崎・大乗の3地区で連携して運営を行っています。福祉・環境・防犯・交流など、テーマに応じて取り組んでいるところです。

今日は、時間の制約があるため仕方ないのですが、一般の人が質問できる時間がもう少しあれば良かったと感じました。しかし、市の考え方を聞くことができて良かったと思います。

今後、幼稚園の運営についての説明会を開催し、これまでの経緯等を地域全体へ報告・説明します。

防災対策

大地震があつた場合、3.4Mの津波が来るといふ報道があつた。このことを住民が知ることが大切だと考えている。できるだけ分かりやすい場所に、海拔を表示してほしい。

答

3連動（東海、東南海、南海）の地震の中で、国が示している数値も踏まえながら、海拔表示等の指標を

住みよさ実感

出していきたいと思っています。現在、具体的な実施方法を検討しているところです。

大乗地区は、相次ぐ地場産業の撤退や、少子・高齢化が顕著である。「住みよさ実感」とは、何を指しているのか。実家の跡取りとして帰っても、働く場所がない、産科医がない。若者が住むには、大変な環境である。

答

大乗地区の住民自治組織の中で、幅広い世代の住民が参加し、郷土愛を育



ていただいていることを大変ありがたく思います。これも住みよさ実感の1つです。竹原市においては、まだまだ雇用の場が少ないということとを認識しています。今後、竹原工業・流通団地、あるいは市内遊休地への企業誘致に、一層取り組んでいきたいと考えています。

また、産科医の数は、県内においても厳しい状況です。地域や郷土に帰る医者を探す努力もしていかなければならないと考えます。

さらに、市外への若者の流出を食い止めるため、「妊婦健診支援事業」などの子育て施策に取り組んでいるところ